

第6学年 国語科学習指導案

児童 6年2組 男18名女16名
指導者 後藤 良子
場所 あさかげホール

立場や意図をはっきりさせて、パネルディスカッションをしよう

論題 「城南小学校をよくするために改善する点は何か」

～ We can change 城南小学校 ～

<育てたい主となる能力>

- ◎互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。(話・聞オ)
- 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。(話・聞エ)

<主となる言語活動>

- ◎学校生活をよくするために、グループごとに調査し意見をまとめ、パネルディスカッションの形式で提案し討論を行う。

1 子どもと単元について

(1) 学習者観

本学級の子どもたちの「話す力・聞く力」をつけるための学習経験としては、6年生の6月に「学級討論会をしよう」の学習で、ディベートを行い、互いの立場や意図を考えながら計画的に話し合う言語活動を行った。この学習で、相手を説得させるために根拠や理由をはっきりさせて話す力や、相手の意見を自分の意見と比べて聞き自分の考えを深める力がついてきた。しかし根拠や理由が曖昧だったり、話題が実生活に結びつかないものであったりしたため、実感の伴わない意見となる場面もあった。

日常活動では、朝の会の「スピーチタイム」の中で、テーマを決め対話をしたり、グループで話し合ったり、ボイストレーニングをしたりしながら、音声化能力と対話力・質問力を鍛えている。また、他教科においても、ペアやグループで話し合う場面を極力設け、自分の考えを話したり、友達の意見を聞いたりする機会を多くするよう心がけている。個人差があるものの、少しずつ、自分の考えを話す力が付いている。話し合い活動に関しては、多くの意見を集約したり一つに決定したりする話し合いはよくできている。優しい児童が多く、自分と立場の違う意見を受け入れたり、時には自分の意見を押し殺したりすることもある。相手の論のぶれを指摘したり自分の意見を押し通そうとしたりすることはあまりない。

論理的に話し合う力を付けるためには、相手の意見を尊重しつつ、相手と対立し討論する話し合いを多く経験させる必要がある。また、ディベートで不足していた、調べた事やまとめた事を説明、討論する言語活動を経験させる必要も感じている。

(2) 学習材観

本単元「立場や意図をはっきりさせて、パネルディスカッションをしよう」では、互いの立場や意図をはっきりさせながら話し合うこと(話・聞オ)と、話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること(話・聞エ)の二つをねらいとしている。この単元における「立場や意図

をはつきりさせながら」とは、自分が今一番、学校生活を向上させるうえで改善が必要と思う点（立場）を、その理由や思い（意図）を分かってもらうために、具体的事例や具体的改善策を明示して話したり、違う立場の相手の話を自分の考えと比べながら聞き深めたりすることであるととらえる。「計画的に話し合う」とは、決められた時間やルール、進行の仕方に沿って話し合いを進めることと、質問を予測して答弁したり、話し合いがより深められるような質問をしたりする活動を行うことととらえる。

本単元では、「城南小学校の生活をよりよくするために、改善すべき点は何か?」という課題で、学校生活の問題点を調査し、自分の考えをまとめ、同じ問題意識を持った児童でグループを作りパネルディスカッションを行う。児童は2学期前半、城南小学校の顔として恥ずかしくないよう精神面生活面で自分自身を鍛える取組みを行っている。2学期後半に入り、自分自身だけでなく全校へ発信できる6年生としての取組みを始めようという意識は高まってきている。このような取組みを続け卒業を5カ月後に控えた児童にとって、本単元の課題は、大変必要感を感じるものである。

本単元では、自分自身で調べ意見をまとめる活動が入るため一人一人自分の考えをもつ時間が十分に確保されている。そして、考え方の近い者同士でグループを作り、練り上げた案で、パネルディスカッションを行う。パネルディスカッションとは、違う考えをもつ論者（パネリスト）が意見を述べ、更にパネリスト同士で公開討論を行い、聴衆（フロア）も一緒に討論も行うという討論の一つの方法である。1学期のディベートの学習では不足していた、調査した資料を提示しながら複数の意見を提示し、それについて討論するという経験ができる。更に今まで経験した事のない形態の言語活動で自分の思いを表現することができる。小学校生活最後の話し合う学習として、児童の必要面・能力面の両面から、本単元は好学習材と言える。

（3） 学習指導観

指導に当たっては、以下の点に留意していく。

第1次では、学習計画を立てながら、この学習内容が自分たちの生活に必要な学習であること、今まで身に付いた力は何で、本単元で身に付けなければいけない力は何であるのか、なぜパネルディスカッションをするのかを、その必然を子どもたちにしっかり理解させ、意欲付けを行う。

第2次では、課題についての自分の考えをしっかりとつために、各自の提案をレポートにまとめる。レポートは、5年生の「言葉の研究レポート」で学んだ知識・技能を活用し、書かせるようにする。一人一人に考えをもたせる時間を確保するために、第1次と第2次は少し時間をおき、何が一番必要でそのために何をすればいいのかしっかり考えを持たせる。その後、レポートの交流を行い、似たテーマごとにグループを作る。

第3次では、グループごとに追調査をしながら、自分たちの意図がより伝わるような提示資料作りをする。自分たちの考えをより効果的に聞く人に伝えるために、何を話し、どんな具体例をどのように提示すればいいのか考え準備することで、思考力が付くものと考えている。その際、9月教材の「みんなで生きる町」の学習で身に付けた、効果的なポスターの書き方の知識・技能を活用する。

第4次では、パネルディスカッションを行う。第1次にも見せたパネルディスカッションのビデオを再視聴しイメージをつかみ、手引きを基に、パネルディスカッションの準備をする。パネルディスカッションでは、アンケートやビデオや調査結果やインタビューなどを駆使し調べたことを効果的に伝えるために、グループごとに工夫させる。パネリストだけではなくフロアも十分に意見を述べることができ

るようにパネルディスカッションの進め方は、児童の実態に合わせたオリジナルのものとする。本時話し合われたことが、確実に学年や全校への活動につながることで、話し合いの質や話し合いの意欲も高まるものとする。

(4) 教科等の学習や日常生活への活用例

- ・ 様々な場面での話し合い活動（日常）
- ・ 学級会における話し合い活動（特別活動）
- ・ 調べたことを資料を提示しながら説明する活動（総合的な学習，社会，理科）
- ・ 文章の読み取りの中で根拠を基に自分の意見を表現する活動（国語）
- ・ 理由や根拠をはっきりさせて，自分の意見を書く活動（国語）

2 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	◎学校生活をよりよくするための改善点を考え，自分の意図が伝わるように表現活動を行おうとする。	・ 学校生活をよりよくするための提案をレポートや提示資料に進んでまとめたり，進んで話したりしようとしている。
話す・聞く能力	◎互いの立場や意図をはっきりさせながら，パネルディスカッションを行うことができる。（話・聞オ） ○パネリストやフロアの意見を意図をとらえながら聞き，自分の意見と比べるなどして，自分の考えを深めることができる。（話・聞エ）	・ 立場や意図をはっきりさせながら，調査した事を基に根拠を明らかにした説得力ある話し方をしている。 ・ 相手の意見と自分の意見を比べながら聞いたりして，自分の考えを深めている。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○比喩や反復などの表現の工夫に気付き，効果的に使うことができる。 (イ(ケ))	・ 自分の意図がより効果的に伝わるように，比喩や語句の反復，誇張など表現の仕方を工夫している。

3 学習指導計画（全7時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な活用】

第1次

単元のねらいを知り、
学習の見通しと課題
意識をもつ。（1時間）

- ① 単元のねらいを知り、学習の見通しと課題意識を持つ。ビデオを見てパネルディスカッションについてイメージをもつ。

<評価> _____

- ① 学習の流れや付けたい力が分かり、課題意識を持っている。《シート》

第2次

「城南小学校をよりよく
するための改善点は
何か」というテーマでレ
ポート形式の意見文を
各自書き交流してグル
ープ分けをする。
（2時間）

- ② 「城南小学校をよりよくするための改善すべき点は何か」というテーマでレポートを書く。
③ レポートを交流し合いパネルディスカッションでのチーム分けをする。

<評価> _____

- ② 条件に合わせて、自分の考えをレポートにまとめている。《レポート》
③ 交流によって、自分の考えを深めたり、友達の考えのよさを見付けたりしている。《交流の様子、シート》

「学級討論会をしよう」の学習で学んだ、説得力のある話し方・相手の意見と自分の意見を比べて聞く力の知識・技能を活用し交流する。

第3次

グループごとに提案事
項の絞り込み、追調査
を行い、パネルに書き
まとめる。
（2時間）

- ④⑤グループごとに、より効果的に伝えるために、根拠を明確にしたり追調査したりする。効果的に伝わるように提示資料にまとめる。

<評価> _____

- ④⑤自分たちの考えが相手により効果的に伝わるように、追調査を行っている。《調査の様子、シート》
自分の考えが効果的に伝わるように工夫して書き表している。《資料、シート》

第4次

パネルディスカッション
の準備をし、パネル
ディスカッションを行
う。（2時間）

- ⑥ビデオや手引きを基に、パネルディスカッションについて理解し、役割分担、準備を行う。
⑦パネルディスカッションを行い、自分の考えを深めるとともに、友達の考えを聞く。（本時）

<評価> _____

- ⑥パネルディスカッションの進め方を理解し準備している。《準備の様子、シート》
⑦自分の考えが相手に効果的に伝わるよう説明し、それぞれの提案のよさや問題点を聞きとっている。《パネルディスカッションの様子、シート》

「学級討論会をしよう」の学習で学んだ、説得力ある話し方や質問の仕方や司会の進め方の知識・技能を活用してパネルディスカッションを行う。

（他教科・日常活動等）

学年全員の前でプレゼン
テーションを行い、学
年で取り組むことを
決め、実行、発信す
る。

- 学年集会で6-2から学年へのプレゼンテーションを行い、学年で取り組むことを決める。（総合的な学習の時間）
○学年計画委員会を中心に実行計画を立てる。（休み時間・学年朝会）
○学年全員で実行。全校へ発信する。（昼の放送・児童朝会・日常活動等）

「学級討論会をしよう」「本は友達」の学習で学んだプレゼンテーションの知識・技能を活用してプレゼンテーションを行う。

4 本時の指導

(1) ねらい

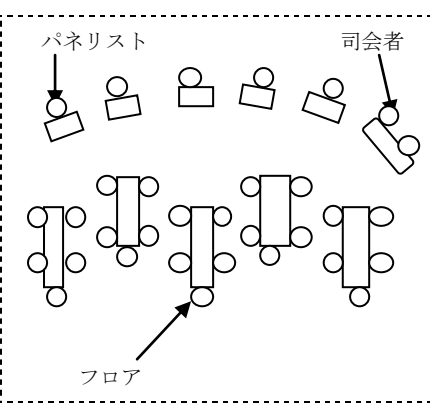
「城南小学校の生活をよくするための改善点」についてパネルディスカッションを行い、調査したことを基に根拠を明らかにした説得力ある話し方をしたり、相手の意見と自分の意見を比べながら聞いたりして、自分の考えを深めることができる。

(2) 既習の知識・技能を活用する言語活動

「学級討論会をしよう」の学習で、説得力ある話し方や質問の仕方や司会の進め方を身に付けた。また、前時までの学習でパネルディスカッションの流れ・役割・それぞれの役割で目指す姿について学んだ。今まで学んだ討論会におけるそれぞれの役割で大切なことの知識・技能を活用してパネルディスカッションを行う。

(3) 展開

段階	学習活動・学習内容	形態	指導上の留意点
つかむ	1 本時の学習課題を確認する。 (2分) パネルディスカッションで、自分の考えを深めよう。	全	○城南小学校をよりよくするために、いろいろな考えを提案し、討論することで、自分の考えを深めることが本時のねらいであること。そのためには、それぞれの役割で大切なことの知識・技能を活用すること確認する。
パネルディスカッションをする	2 パネルディスカッションを行う。 (35分) 《それぞれの役割で身に付けたい力》 パネリスト…調査した事を基に根拠をはっきりさせて説得力のある話し方をする。 フロア…自分の考えと相手の考えの違いを聞き分け、意見を述べる。 司会者…ルールに沿って進行するとともに、みんなの考えが深まるように発言をまとめたり意図的な指名をしたりする。 全員…自分の考えを深める 《パネルディスカッションの流れ》 ① 司会者の開会宣言 (1分) ② パネリストによる初めの主張 (各2分…計10分) ③ パネリストによる質問・意見 (6分) ④ フロアからの質問・意見 (10分) ⑤ グループごとの相談 (2分) ⑥ パネリストによる最後の主張 (各1分…計5分) ⑦ 司会者の閉会宣言 (1分)	全	○ここからの活動は児童に任せる。自分たちの力で司会進行し討論を進めることが、思考力・判断力・表現力を育てることにつながる。考える。 ○全員参加型のパネルディスカッションを行う。 そのため、フロアの積極的な質問・意見はもちろん、途中、グループごとに相談を行ったり、最終弁論は別のパネリストになったり、質問をフロアが答えたりすることもある。 ○教師は前面には出ずに、意見がまとまらないグループや発言できないでいる児童や進行に行き詰った司会者がいた場合には、支援に入る。 ○司会になっている児童も質問意見が言えるように、二人の時間を半分ずつ分ける。 ○司会者がその場で判断し、時間や発言のさせ方など臨機応変に対応することもよしとする。 ○説得力のある話し方・よりよい聞き方については、単元を通して意識させてきたが、本時も壁面提示をし、意識しながら、パネルディスカッションを行わせる。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">パネルディスカッションをする</p>	<p>《場の設定》</p>  <p>《予想される提案》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下歩行をよくするための呼び掛けと廊下掲示のアイデア ・給食の残菜を減らすための工夫 ・体力向上をねらった遊びの工夫 ・きれいな校舎作りのための掃除の仕方の見直し ・地域の方への挨拶の徹底 ・VS活動を全校へもっと広めるための方法 ・縦割り遊びの提案 ・委員会活動内容の見直しと提案 ・城南小エコ運動 <p>3 パネルディスカッションの振り返りをする。 (5分)</p> <p>○自分の考えで深まったこと。 ○他の提案でよいと思ったものとその理由。</p>	<p>全 《役割》</p> <p>司会・・・・2名（計時も行う。） パネリスト・・・数名（パネル数） （最後の主張は新たな数名が行う。） フロア・・・残り25名ほど</p> <p>＜評価＞</p> <p>A 聞く人がより分かり易いように具体的資料の提示の仕方を工夫したり、他の提案を聞き、より明確になるよう質問したりして、自分のもともとの考えを深めたり、新しい提案を聞き考えを広げたりしている。</p> <p>B 調査した事を基に根拠を明らかにした説得力ある話し方をしたり、相手の意見と自分の意見を比べながら聞いたりして、自分の考えを深めている。</p> <p>Cへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠を明らかにして話すことができない児童には、事前に準備したシートを見ながら話をさせる。 ・自分の意見と比べられるように、討論会中にメモを取らせる。 ・発言の機会がない児童が無いように、司会者に指名の仕方を指導しておく。 <発言の様子> <p>個 ○ここからは教師が進める。</p> <p>全 ○今日のパネルディスカッションを受けて、自分たちの提案で考えが深まった点と、他のグループの提案でよいと思った提案について根拠を明確にしてシートに書く。何人かに発表させそれぞれの提案のよさをたたえる。</p> <p>○集計の発表は後日とする。</p>
	<p>4 学習を振り返る。 (3分)</p> <p>《身に付けた力》</p> <p>㊸調査した事を基に根拠をはっきりさせて話す力。 ㊹自分の考えと相手の考えの違いを聞き分け、意見を述べる力。 ㊺司会力。</p>	<p>個 ○この単元を通して、身に付いた力を単元のねらいに沿った視点に合わせて振り返り、学習の成果を実感させる。</p> <p>全 ○今後、学級の決定事項を学年にプレゼンテーションの形で提案し、承認を得たら学年で取り組んだり、全校へ提案したりすることを知らせる。本時で、身に付いた力をこれからの活動や日常生活に活用していこうとする意欲をもたせる。</p>

